

## 北九州 PCB 処理事業所 長期処理計画について

(北九州 PCB 処理事業部会、北九州市 PCB 処理監視会議資料抜粋)

### I 処理対象PCB廃棄物

#### 1 北九州事業エリアの処理対象物

中国、四国、九州・沖縄地域（岡山以西17県）の全てのPCB廃棄物が対象。  
平成29年度以降の処理対象量の見込みは以下のとおり。

- |             |        |  |
|-------------|--------|--|
| ① 大型変圧器     | 34台    |  |
| ② 小型変圧器     | 80台    |  |
| ③ コンデンサー    | 2,789台 |  |
| ④ 安定器及び汚染物等 | 290ト   |  |

#### 2 北九州事業エリア外の処理対象物

近畿、東海、南関東地域（14都府県）の一部のPCB廃棄物が対象。  
平成29年度以降の処理対象量の見込みは以下のとおり。

- |                          |         |
|--------------------------|---------|
| ① 車載変圧器（豊田事業エリア）         | 63台     |
| ② コンデンサー（東京事業エリア）        | 約3,220台 |
| ③ 安定器及び汚染物等（豊田及び大阪事業エリア） | 約3,225ト |

### II 処理進捗状況及び処理計画

これまでの処理進捗状況と上記の処理対象台数を踏まえた年度ごとの処理計画を策定することにより、期限内の処理を確実に実施する。

#### 1 処理進捗状況

北九州事業エリアの処理対象物については、平成29年3月現在で変圧器97%、コンデンサー95%、安定器及び汚染物等92%の処理が完了している。

北九州事業エリア外の処理対象物については、豊田事業エリアの車載変圧器52%、東京事業エリアのコンデンサー63%、豊田及び大阪事業エリアの安定器及び汚染物等22%の処理が完了している。

#### 2 年度ごとの処理計画

北九州事業エリアの処理対象物の処理の進捗状況を踏まえ、車載変圧器（豊田事業エリア）及びコンデンサー（東京事業エリア）は施設の空き能力の活用、安定器及び汚染物等（豊田及び大阪事業エリア）は施設の最大稼働により、変圧器・コンデンサーは平成30

年度末まで、安定器及び汚染物等については平成33年度末までに処理を行う。  
 年度ごとの処理計画は表1のとおり。

表1

北九州PCB処理事業所における年度ごとの処理計画								
区分		(参考) 平成28年度 処理量の 実績	平成29年度以降の 処理量の見込み	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
大型変圧器		33台	34台	34台				
小型変圧器		13台	80台	56台	24台			
車載変圧器								
	豊田エリア	38台	63台	44台	19台			
コンデンサー								
	北九州エリア	1,667台	2,789台	1,769台	1,020台			
	東京エリア	1,945台	約3,220台	2,640台	580台			
安定器及び 汚染物等								
	北九州エリア	146 <sup>ト</sup>	290 <sup>ト</sup>	154 <sup>ト</sup>	136 <sup>ト</sup>			
	大阪・豊田エリア	595 <sup>ト</sup>	約3,225 <sup>ト</sup>	498 <sup>ト</sup>	574 <sup>ト</sup>	730 <sup>ト</sup>	730 <sup>ト</sup>	695 <sup>ト</sup>
注：平成28年度処理実績：平成29年3月31日時点の中間処理完了ベース（マニフェスト単位：D票ベース）								
注：安定器及び汚染物等の処理量の見込みには缶重量を含まない								